

「道徳科の授業づくりの基礎・基本」

令和5年1月20日(金)に令和4年度第7回の瀬戸内まなび塾を行いました。今回は、瀬戸内市立国府小学校を会場に、尾崎正美先生を講師として、「道徳科の授業づくりの基礎・基本」について、先生方と一緒に勉強しました。模擬授業を通して、児童生徒役として授業を体験したり、「道徳授業づくりシート」を用いて授業をつくる体験をしたりする等、実践的な研修となりました。講師の先生から「授業づくりのこつ(骨)」を教えていただき、参加された先生方は、今後の授業づくりに大いに生かしていけそうだと感想を多くいただきました。講師の尾崎先生、参加くださった先生方、ありがとうございました。



道徳の授業を組み立てる際、今までは教師の手立てばかりに考えがいきがちだったが、今後は、内容項目、子どもの実態、教材の特徴、ねらいという“骨”の部分を大切に授業づくりをしていきたいと思います。

めあて、発問のつくり方、発表のさせ方、子どもが安心して授業に参加できるようにするための仕掛け等、大変参考になりました。授業づくりシートを作る活動がとてもよかったです。また、続きの研修が受けたいです。



授業の骨となる部分をまずしっかりと考えることから実践していきたいと思います。自分の仕事に向かう心を高めてくれる内容だったので、また参加したいと思いました。

授業づくりのポイントを丁寧に確認くださり、今後の授業づくりが楽しみになりました。日々の授業づくりにしっかりと生かし、自己の生き方について考えを深めることができる授業をつくっていこうと思います。

内容項目+生徒の実態から、教材の特徴を踏まえて、ねらいを考え、授業を組み立てていけるようになればと思いました。中学校で扱う教材に置き換えて、また教材研究していきたいです。

模擬授業→授業の解説→授業づくりの演習という研修の流れがとても分かりやすく、思考を深めることができました。校内で、伝達講習したいと思います。



本年度のまなび塾は終了となりますが、来年度も先生方のニーズに合った研修、より実践的な内容の研修を企画していきますので、引き続き、御参加よろしくお祈いします。